お知らせ

十一月例会

・期日　立教179年11月25日
・時間　学生担当者大会終了後
・場所　第二食堂

学生層育成者講習会日程・会場案内

【教区】
・宮崎　11月1日11時30分～　教務支庁
・鳥取　11月30日13時～　教務支庁
・徳島　11月30日11時30分～　教務支庁

【直属】
・中根　11月14日12時～　大教会
・池田　11月23日12時10分～　大教会

報告

八月例会

去る9月25日、教庁4階講堂に於いて「九月例会」を開催。出席は40教区、133直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】
・佐賀　9月2日　教務支庁　39名
　西委員出向
・福岡　9月4日　教務支庁　93名
　福江委員出向

【直属学生層育成者講習会】
・高知　9月18日　大教会　150名
　濱委員出向

人事

【教区学生担当委員長辞令交付】
《立教179年9月25日付》
・笹倉雅浩（兵庫教区）
・迫野信彦（山口教区）

【直属学生担当委員長辞令交付】
《立教179年9月25日付》
・宮路典孝（網島・日紀）
・河原　光（鐸姫・姫大和）
・芝　亮子（はるひ）

業務記録

《立教179年9月16日～10月15日》
9月16日　事務局連絡会
21日　『Happist』納品
23日　『Happist』梱包
24日　研修会チーム会議
25日　委員会　例会
　広報室会議
　勉強会チーム会議
　学修部部会
26日　出版部部会
27日　屋外プログラムチーム会議
10月3日　学生部部会
5日　委員勉強会（～6日）
6日　委員会
　担当者活動部部会
　人材育成部部会
7日　学修部部会
8日　学修大学の部研究室会議
　学修高校卒業生コース研究室会議
　春の学生おぢばがえり
　　プロジェクトチーム会議
　学生連絡会

GAKUSEI TANTOSHAHO
学生担当者報 11
Vol.357
発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／松村孝吉　編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511（内線 5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5870
[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp　[TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp
立教179年
平成28年10月25日発行

第十四期委員会発足にあたって

第十四期学生担当委員会
委員長　松村　孝吉

去る九月例会におきまして、表統領先生より第十四期学生担当委員二十九名（うち十三名が新任）が任命をいただきました。

今期は教祖百三十年祭後の動きの中でのつとめとなります。道の将来を担う後継者を育てることが、これからすべきことであるとお聞かせいただき、教会長子弟育成プロジェクトや後継者講習会のお打ち出しをはじめ、婦人会では女子青年大会を開催、青年会におきましても百周年に向けての活動が展開されてまいります。そういったお道全体の動きの中で、学生担当委員会として果たしていくべき役割をしっかりと考えていきたいと思います。

例会の席上、表統領先生は、「任期の三年という枠だけで考えるのではなく、学生担当委員会の目的や志すところを忘れることなく、また見失うことのないように足元をしっかり確かめながらつとめるように」とご教示くださいました。学生会や学生担当委員会の歴史の中で、「春の学生おぢばがえり」や「学生生徒修養会」、「高校生の集い『まなびば』」など、様々な行事が生まれ熟成されてきました。今後も「学生会活動のバックアップ」と「将来立派なようぼくとして成人するための世話取り」という我々の志すところに向かって、歴代委員や教区・直属で育成に携わってこられた先輩方によって作り上げられた伝統を頼りに、大学生・高校生層の気質の変化も感じながら、今の時代に相応しい若者との関わり方や行事の持ち方について模索していけたらと考えております。

彼らに親神様の思召、教祖の御心を伝えていくためには、まずは私達がをやの恩を感じ、教祖のひながたを頼りに、陽気ぐらしを実践していくことが大切であります。学生層の育成に携わるお互い、自らが道を通る中に、信仰の喜びを学生たちに映していけるよう、つとめさせていただきたいと思います。

まだまだ未熟な私達でございますが、現場でおつとめいただく皆様方のご助言をいただきながら、精一杯に役割を果たしていきたいと思っております。何卒、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

立教179年 学生担当委員会 活動方針 『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

『任期を終えて～九月例会時の挨拶（要旨）～』
第十三期学生担当委員会　委員長　吉川万寿彦

お礼のご挨拶をさせていただきます。

「第十三期委員会」は、最後の年に『教祖百三十年祭』そして『教祖百三十年祭　学生おぢばがえり大会』を迎えるという、まさに年祭活動と共につとめさせていただいた三年間でした。

振り返ってみますと、心の勉強、心のお仕込みをたくさんいただきました。最後の一年間は特に「一万人動員の実現」を目指して、重圧がかかった年でもありました。ですから、学生自身が感じていたプレッシャーは相当のものだったと思います。また、教区・直属担当委員先生方にとりましても、重圧のかかった一年であったのではないでしょうか。本当にありがとうございました。

『大会』前夜祭の日に学生が来る前から、多くの物品を運んで黙々と模擬店の準備をなさっている先生方のお姿や、プログラムの最後に大会イメージソング「希望の花」を歌いながら賑やかに跳びはねている学生の反対側で、せっせと看板や机を撤収されているお姿がとても印象的で、胸がいっぱいになり一人感動しておりました。学生達の笑顔の裏には、ご丹精があればこそでありますなお姿からたくさんの宝物をいただきました。

ところで、つい二ヶ月前の事ですが、天理大学の卒業生から声をかけられました。この三月に卒業した後、修養科を修了し、教人講習のバッジを付けていました。そして、

「学修大学の部を受講した一回生の時、天理教嫌い嫌いって言って、ご迷惑をかけてすみませんでした。これだけお伝えしたかったんです」と言ってくれたのです。

（ああー、学担つとめさせていただいて良かったー）と涙が出そうになりました。現場でよくある話ではありますが、やはり嬉しいもので御用であるけれども、常に声をかけ続けることは無駄にならないのだと改めて実感しました。

この三年間、スタッフに対して特に強調したことは、プログラムを進めて行く手段、方法は重要であるがそれは二の次であるということです。それ以上に大切な事は、プログラムとプログラムの隙間や移動、食事などの時間帯に、どれだけ「一対一の時間」を作る事ができるか。「リングの外」と銘打ちまして（プログラムを実施する正式な時間の事を「リングの内」としました）、特にこの時間を大切にするよう強調しました。

真柱様は、『立教百七十七年学生担当者大会』において、「学生たち一人ひとりの心が成人するように方向を示し、そこに辿り着くことができるよう導く、いわゆる内面の世話取り」に重点を置き、「地道な丹精で彼らを導いてもらいたい」とお示しくださいました。そして、現在、青年会長様は「胸から胸へのにをいがけ」を強調して下さっています。

この三年間、私自身が果たしてどこまで「リングの外」で「一対一の時間」を作ることができたのか？今思うと反省することばかりですが、今後新たな気持ちで学生層育成の上にバックアップさせてもらいたいと思います。

本当に、ドタバタした「第十三期」ではございましたが、三年間、先生方と共に学び、共に楽しくつとめさせていただくことができ、誠にありがとうございました。

第１４期学生担当委員会　委員紹介

■総務

委員長　松村　孝吉（本部）

副委員長　秋岡　正直（西宮）

副委員長　福江　弘一（郡山）

■庶務会計部

委員（兼事務局次長）（兼人材育成部）　松山　勇一（本部）

部長（事務局長）　辻　雄二郎（本部）

■担当者活動部

委員　冨松　基成（櫻井）

委員　中山　祥吉（あきよ志）

委員　中島　啓和（西陣）

委員　駒谷　砂和子（梅谷）

部長　葛西　直己（津軽）

■学生部

委員　川口　道宣（本部）

委員　春野　定行（本部）

委員　深谷　太清（やまとよふき）

委員　清水　慶政（兵神）

委員　豊田　章宏（津）

委員　飯降　好助（本部）

委員　勝村　宏樹（東濃）

委員　旭　正孝（川之江）

委員　渡部　芳文（本理世）

委員　中山　昭悦（本部）

委員　柏原　信弘（名東）

委員　中西　はつよ（琵琶）

■出版部

部長　泉　裕一（亀岡）

■学生生徒修養会部

部長　宮田　幸一郎（池田）

■人材育成部

部長　飯降　信（本部）

委員　置田　善道（中河）

委員　田邊　幹善（中野）

委員　村田　薫（本部）

道の学生ひのきしんDAY　開催報告

2016.09.19　感謝して、身近な友とつながろう

九月十九日、「感謝して、身近な友とつながろう」をスローガンに、「道の学生ひのきしんＤＡＹ」を開催、千百三十四名の学生が参加しました。（十月十一日現在）

●長野教区学生会

長野教区学生会は、社会福祉施設「松本児童園（長野県松本市）」でひのきしんを実施、十五名の学生が参加しました。

台風が近づく中、学生は前日に教務支庁に集まり打ち合わせをしました。当日は台風の影響で雨天でしたが、長野教区の少年会員（わかぎ）と一緒に施設内の窓拭きや清掃、また、施設の周りの除草ひのきしんを行いました。次第に雨も止み、学生達の表情には笑みも浮かび、活気に満ちあふれた様子でいました。少年会員らと一緒に和気あいあいとひのきしんに励みました。その後、近くの公園で昼食を摂り、午後からは松本市島内体育館でゲームを中心としたレクリエーションを行いました。学生会が中心となり、プログラムは進められ、体育館内は楽しそうな笑い声が響き渡っていました。

長野教区学生会と少年会の身近なつながりを感じた一日となりました。

青空

ラグビーシーズンの到来。昨年のW杯での日本代表の活躍の余韻が、未だ冷めやらぬ私は、この季節を心待ちにしている。この季節はラグビー未経験の身でありながら、何を血迷ったのか天理大学ラグビー部の門を叩いた頃を思い出す。

当時のラグビー部は、体育学部に在籍する経験者ばかりで、初心者は私のみだった。すべてにおいて出遅れていた私は、この苦しい環境から逃避することばかり考えていた。オフ明けから始まる地獄の菅平夏合宿前に退部する意志を固めたのだ。その頃、偶然にも同級生のSに会った。開口一番退部する旨を伝えると「お前が辞めるのなら俺も辞める。俺も苦しいし、しんどいんや」。この世で唯一の不幸者だと絶望していた私にはこの言葉はこたえた。

オフが明けた練習再開日、気付けばグラウンドに立っていた。「一言の言葉がその人の運命を変える」。Sの言葉がなければどうなっていただろう。四年間のラグビー生活が現在の私の布教道中の礎になっていることは間違いない。

岡山教区学生担当委員会前委員長　平野　晋

立教179年 道の学生ひのきしんDAY 参加人数集計

※10月11日現在

教区	参加人数	教区	参加人数
おやさと	101	石川	6
奈良	95	富山	4
京都	中止	新潟	35
大阪	126	岡山	13
兵庫	55	広島	22
滋賀	17	鳥取	6
和歌山	41	山口	50
三重	63	島根	4
静岡	5	大分	10
愛知	62	福岡	21
岐阜	14	長崎	17
長野	15	鹿児島	10
香川	4	熊本	16
徳島	7	宮崎	9
高知	4	佐賀	11
愛媛	23	沖縄	5
山梨	6	北海道	50
東京	31	福島	5
千葉	10	宮城	9
埼玉	37	山形	2
群馬	21	岩手	延期（日時未定）
栃木	6	青森	中止
神奈川	45	秋田	3
茨城	12	海外	15
福井	11	合計	1134

立教百七十九年 秋期直属学生リーダー講習会 開催報告

十月一日から二日にかけて本部第二母屋を会場に、「立教百七十九年秋期直属学生リーダー講習会」が開催されました。この講習会は天理教学生会直属部が主催し、開催主旨として、「道の学生がおぢばに帰り集い、教会につながる大切さを学び、直属学生活動の意義を認識し、今後の活動を充実させていく上での糧となるようつながりを持つ。また、道の学生のリーダーとしての意識の向上を図る」と掲げています。今回、参加者七十六名、スタッフ四十名と過去最高の計百十六名が参加しました。過去最高となった要因の一つに、参加者の八割が初参加ということが上げられます。

初日のプログラムでは、自分と所属教会・直属教会の関わりを振り返って、改めて教会の大切さを確認し、学生として直属での活動意義を考えました。

二日目には、本部員　田中善吉先生（学生担当委員会第十二期委員長）より、ご自身の体験談などを踏まえた親心溢れるご講話を頂戴しました。学生たちは、信仰の有難さを身に染みて感じ、また自分達にもできるおたすけとは何かと考えるきっかけとなりました。その後、士気も高まったところでグループに分かれて天理市内にて神名流し、路傍講演、よろづよ八首てをどりを声高らかにつとめました。最後に、全プログラムを通して感じた自分自身の「信仰」について熱く語り合い、これからどのように活動をしていくのか目標を立て、それぞれ実践を誓い合いました。

「まなびば」開催会場一覧　《１１月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
愛知※1	11月12日13時～13日15時	名京大教会	毛利	
大阪※2	11月19日13時～20日16時	敷島詰所	矢野	
大阪※3	11月19日12時30分～20日16時	中河詰所	阪口	
広島	11月19日13時30分～20日15時	三原市サギ・セミナー・センター	巻幡	

※1、中部ブロック対象　※2、2ブロック対象　※3、3・4ブロック対象

☆実施計画書は２ヵ月前までにご提出ください。

学生担当者大会のご案内

来る11月25日、学生担当者の総会ともいうべき「学生担当者大会」を次の通り開催いたします。本年は、表統領 中田善亮先生よりご講話をいただきます。

【日　時】　11月25日(金)13:00開始　(受付12:30～)
【会　場】　第二食堂
【対　象】　教区・直属担当委員長、委員、支部担当者、学生層育成に携わる者
【内　容】　表統領 中田善亮先生ご講話
委員長挨拶
ビデオ上映
引き続き、11月例会

関東ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 開催報告

十月十五日から十六日にかけて、東京教務支庁を会場に「関東ブロック大学生の集い Work & Talk 2016 in 東京」が開催され、五十六名（内、スタッフ二十一名）の学生が参加しました。

今回は、「おやの思いを感じて、自分たちの成人へ」というテーマのもと、四つのコースに分かれてプログラムが進められました。最初に参加者、スタッフ全員で、二日間を無事に通れるようにお願いづとめをさせていただきました。

その後、各コースに分かれてグループタイムを行いました。参加者の緊張をほぐすためのアイスブレイクから始まり、キャンドルトークで本音で話し合ったり、十全の守護などの教理について考え、学ぶコースもありました。

二日目は、それぞれメインとなるプログラムを行い、親に感謝していることや、今後どのように成人していきたいかなどを話し合いました。また、午後から明城大教会の松井洋三先生による講話があり、参加した学生は熱心に講話を聞いていました。閉会式では、二日間の様子をまとめたふりかえり映像の上映や、参加者の学生による感話が行われました。最後には、二日間を無事にお連れ通りいただけたお礼の気持ちを込めて、お礼づとめをさせていただき、充実した二日間となりました。

●参加者の感想

今までは高校生で参加することができなくて、ようやく参加することができました。最初は期待と緊張でいっぱいでした。最近、ほとんど教理勉強をしていなかったため「あたりまえじゃない」を探し、見つける度に「天理教はすごいな。人を幸せにするな」と改めて思うことができました。

最近、忘れていたことを思い出すことができ、そんなところにも喜びを感じることができるのかと新しい発見することができ、心が洗われたような気がしました。そして、「帰ってからも実践してこそ意味がある」と言われて、この「あたりまえじゃない探し」を続けないといけないなと思いました。きっとこの「あたりまえじゃない探し」を日常的にできたら、どんどん心のほこりも払えて陽気ぐらしができるのではないかなと思いました。今回、ワートに参加することができてよかったです。

「立教180年 春の学生おぢばがえり」

開　催　要　項

≪趣　旨≫

道につながる学生が、一人でも多くの仲間と共におぢばに帰り集い、学生にくださる真柱様のお言葉を心に治め、日々の生活を通る上での指針とする。さらに、をやの思いを求め、共に道の次代を担うようぼくへと成人することを誓い合う場とする。

≪スローガン≫

次代を担うようぼくへ

【期　　日】　立教180年（平成29年）3月28日（火）

【内　　容】　○式典　午前10時　本部中庭
「真柱様お言葉」
○直属アワー　式典後より午後4時まで
○別席
※27日に「前夜祭」（夕づとめ後～午後9時）を行います。

【参加対象】　高校生(新1年生を含む)、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生等

【主　　催】　春の学生おぢばがえり実行委員会
天理教学生担当委員会
〒632-0035
奈良県天理市守目堂町213-4　おやさとやかた真南棟3階
Tel　0743-63-1511　内線 5820（天理教学生会）
Tel　0743-63-2489　（天理教学生担当委員会事務局）

おせち　立教180年 学生ひのきしん隊 募集要項

大学生用

対　　象　大学生、大学院生、短大生、専門学校生で全期間参加できる者
期　　間　立教180年1月4日（水）～7日（土）
受　　付　1月4日12時30分（時間厳守）
本部第38母屋
※学生証提示のこと
※昼食を済ませて集合のこと
解　　散　1月7日16時（予定）本部北2駐車場
宿　　泊　本部第38母屋
参 加 費　2,000円（教区・直属学生担当委員会に納めてください）
内　　容　ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、学生ひのきしん隊の運営、他
申込方法　教区・直属学生担当委員会に、参加費・返信用封筒（12月23日以降に受け取れる住所、氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えてお申し込みください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※保護者の承諾書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切　12月15日本部学生担当委員会事務局必着
※申込書に【世話班・大学生班】のいずれかを希望してご記入ください。世話班、大学生班班長を担当する方は、下記の直前研修会に参加していただきます。

《直前研修会のご案内》
日　　時：1月4日9時（集合・受付）時間厳守
場　　所：本部第38母屋
研修内容：ひのきしん内容、世話班・大学生班班長の役割について

高校生用

対　　象　高校生で全期間参加できる者
期　　間　立教180年1月4日（水）～7日（土）
受　　付　1月4日14時30分（時間厳守）
本部第38母屋
※生徒証提示のこと
解　　散　1月7日16時（予定）本部北2駐車場
宿　　泊　本部第38母屋
参 加 費　2,000円（教区・直属学生担当委員会にお納めください）
内　　容　ひのきしん（給仕・会場誘導・その他）、別席、親睦行事、他
申込方法　教区・直属学生担当委員会に、参加費・返信用封筒（住所、保護者氏名、郵便番号を記入し、82円切手を貼付のこと）を添えてお申し込みください。
12月26日以降にキャンセルされた場合、参加費は戻りませんのでご了承ください。
※病院受診についての同意書、健康調査カード（後日郵送）に必要事項を記入の上、必ず受付時にご提出ください。
申込締切　12月15日 本部学生担当委員会事務局必着

◆参加するにあたっての注意事項◆

◎期間中に別席を運ぶ方は席札を持参してください。尚、初めて別席を運ぶ方は願書などが必要となります。教会と相談の上、必ず『別席の誓いの言葉』を覚えてくるようにしてください。
◎団体行動ですので、飲食物及び、ポータブルオーディオ、ゲーム等は持ち込まないでください（差し入れもできません）。
◎ひのきしん中のスマートフォン・携帯電話の使用はご遠慮ください。

立教180年　学生生徒修養会 高校卒業生コース

高校卒業生が進学や就職などそれぞれの道へと進むこの時期に、親神様の御教え、教祖のひながたを学び、同世代の繋がりを深めることは、その後の信仰生活の上で有意義なことです。

卒業後、どのような環境においても、おぢば、教会に繋がり、教えを拠り所とした生活を送ることができるよう、下記の要項にて学生生徒修養会 高校卒業生コースを開催いたします。

募集要項

【名　　称】　立教180年　学生生徒修養会 高校卒業生コース
【主　　催】　天理教教会本部
【事 務 局】　天理教学生担当委員会
【期　　間】　平成29年3月10日(金)～12日(日)［2泊3日］
【受講対象】　①平成28年度高等学校卒業予定者
☒　　※卒業後の進路は問いません
※天理高等学校第Ⅰ部、第Ⅱ部、天理教校学園高等学校の卒業予定者も受講可能です。
②全期間を通して受講できる者
【定　　員】　400名
【受講御供】　3,000円
【内　　容】　講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事など
【集合日時】　3月10日(金)午前9時～9時30分
【解散日時】　3月12日(日)午後2時頃
【申込方法】　下記書類を整え、最上級教会長を経て、学生担当委員会事務局に申し込んでください。
・受講願書　　1通
・返信用封筒　1枚（保護者氏名、住所、郵便番号を記入し、82円切手を貼付ください。）
【申込期間】　平成28年11月25日(金)～平成29年1月31日(火)
定員になり次第締め切らせていただきます。

※受講にあたっての詳細及び必要事項は、書面にて1月15日以降、随時保護者宛に郵送いたします。
※受講願書は学生担当委員会にあります。必要部数コピーしてご利用ください。
Websiteでもダウンロードできます。　http://tsa.tenrikyo.or.jp

問い合わせ先

天理市守目堂町213－4　おやさとやかた真南棟3階　学生担当委員会事務局
［郵便］〒632－8790　天理郵便局私書箱1号
［電話］　0743－63－2489　（学生担当委員会事務局直通）／　［FAX］　0743－62－5780

立教179年「育成に役立つ研修会」募集要項

この度、下記の通り「育成に役立つ研修会」を開催いたします。本研修会は、昨年まで「ＨＡＲＰ研修会」として開催していたものですが、人材育成の現場において現状に即した幅広いニーズに応じることができるよう、コース内容を改めて開催するものです。

-記-

◎日　　時　　立教179年11月27日(日) ～ 29日(火)
集　合：27日　13時00分　第8母屋
解　散：29日　15時30分　第8母屋
◎会　　場　　第7･8･9母屋
◎定　　員　　150名
◎受 講 費　　4,000円
◎携 行 品　　・ハッピ、保険証、その他合宿で必要なもの
・女性の方はズボン着用でご集合ください。
◎注意事項　　研修会の性質上、遅刻・早退を含め変則的な受講はご遠慮ください。
◎申し込み
・申込用紙に受講費を添え、学生担当委員会事務局までお申し込みください。
・11月17日（木）締め切り(定員になり次第締め切ります)。
・キャンセルの場合、必ずご連絡ください。11月25日以降のキャンセルについては受講費の返却はできませんのでご了承ください。
◎お問い合わせ
天理教学生担当委員会事務局　Tel　0743-63-1511(内線5817)　0743-63-2489（直通）

Happist12月号　予告

［特集］ **集中力UPテク!**

連載

・教理コーナー
明日を展くをやの言葉　佐藤 浩司（天理大学名誉教授）

・輝く生き方見つけよう
Key Person　田邊 優貴子（生態学者）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　和田 与志男（平取分教会長）

・人生を彩る1冊をあなたに。
虹色のしおり　上田 和子（浪華分教会教人）

Happist12

個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。